

# 共同利用機器部門 イメージングフローサイトメーター 利用申し合わせ

平成 27 年 5 月 7 日

共同利用機器部門のイメージングフローサイトメーター(メルクミリポア ImageStreamX Mark II)を適切に利用していただくために、以下のルールを必ず守ってください。また講習で習ったとおりの正しい扱い・操作方法を心がけ、他の利用者の迷惑にならないようにしてください。

## 1. 利用資格

- (1) 共同利用機器部門 内規第 4 条(利用資格)に該当する方が使用できます。
- (2) 不適切な使用が認められた場合、一時使用禁止とすることがあります。

## 2. 予約

- (1) 機器は予約制です。機器備えつけの予約表に、以下の内容を記入してください。
  - ・ 氏名
  - ・ 所属・連絡先(内線あるいは PHS)
  - ・ 開始・終了時間
- (2) キャンセルする場合は、速やかに予約表から削除してください。
- (3) 無連絡でのキャンセルが続く場合や予約なしでの使用が認められる場合、利用をお断りすることがあります。

## 3. 利用時間

- (1) 原則として機器はいつでも使用できますが、時間外(平日 8:30~17:15 以外)に使用する場合は別途、生化学・分析系実験室への入室登録が必要です。
- (2) 停電等で使用できない期間がある場合には、事前に連絡・表示等を行います。

## 4. 使用料

- (1) 使用料がかかります。
- (2) 使用料の請求は、他の共同利用機器部門の機器と同様に行います。
- (3) 不適切な使用法による機器の故障・破損、共用品の紛失等があった場合には、使用料とは別に修理・弁償をお願いすることがあります。

## 5. 機器を使う前に

- (1) 初めて使用する場合は、担当者から説明を受けてください。
- (2) 設置実験室の遺伝子組換え生物拡散防止措置は P2 レベル(以下)です。これ以上の措置が必要なものは持ち込めません。
- (3) Data Acquisition Form(群馬大学版)は部門ウェブサイトからダウンロードできます。
- (4) 溶液類(SpeadBeads, Sterilizer, Cleanser, Debubbler, Rinse, Sheath)が不足していないか、Waste ボトルが満量でないか確認してください。不足等ある場合には、担当者に連絡してください。
- (5) 細胞凝集塊による流路の詰まりを防ぐため、サンプルを 70  $\mu\text{m}$  のフィルターに通すようにしてください。また必要に応じて、EDTA 添加・DNase 添加・BSA(FBS)添加などの処理をしてください。
- (6) オートクレーブ以外の不活化処理を必要とする廃液が出る場合は、各自で容器を用意して回収し、処分してください。
- (7) 測定データは指定のフォルダに保存してください。それ以外に保存されたデータは、予告なく消去します。

(C:\Program Files (x86)\Amnis Corporation\INSPIRE\INSPIRE\ImageStreamData)

## 6. 機器を使った後に

- (1) Shutdown を行う前に、Waste ボトルの廃液を専用ボトルに入れください。廃液はまとめてオートクレーブで不活化してから廃棄します。そのまま流しには捨てないでください。
- (2) 各溶液の残量が十分あることを確認してください。Shutdown の途中で廃液が満量になる、ある

いは溶液類が不足すると、Shutdown が正常に終了しないので注意してください。

- (3) Shutdown には約 40 分かかります。次の予約者がいる場合は注意してください。
- (4) Shutdown にして帰る場合、Shutdown 中である旨の掲示を出してください。
- (5) 持ち込んだ消耗品・試薬類は、全て持ち帰ってください。放置されていた場合は、連絡なしに処分します。
- (6) データは DVD で持ち出してください。ウイルス感染を防ぐため、USB フラッシュメモリの使用は禁止します。
- (7) 部門ではデータのバックアップをとりません。必要なファイル等は各自でバックアップをとってください。
- (8) 制御用 PC に保存されたデータを削除する場合は事前に連絡しますが、データサイズが非常に大きいので、極力、制御用 PC 内にデータを残さないでください。
- (9) 解析は、原則として各自の PC に解析ソフトウェア(IDEAS)をインストールして行ってください。解析ソフトウェアのインストーラが必要な方は、担当者に連絡してください。

#### 7. トラブルがあった場合

- (1) 使用中にエラーが表示されたり、故障したりした場合には、速やかに使用を中止し、担当者あるいは機器管理者に連絡してください。
- (2) トラブルの内容によっては、利用者にメルクミリポア社への状況の説明やログの送信等をお願いする場合があります。その場合は、随時、担当者に状況・経過を報告してください。
- (3) 修理に費用がかかる場合、使用料とは別に、利用者に一部負担をお願いすることもあります。

#### 8. その他

- (1) トレーニング用デモデータやマニュアル(PDF)が必要な方は、制御 PC に保存されているものを DVD に保存するなどしてください。保存場所や内容について不明な点があれば、担当者に連絡してください。
- (2) 機器の操作方法等に不明な点がある場合は、担当者か機器管理者に聞いてください。また再講習を受けるなどし、不明なまま使用を継続しないでください。
- (3) 機器の使用にあたって、要望・意見等ある場合は、担当者に連絡してください。機器管理者と相談の上、対応を検討いたします。